

## 研究計画概要

助成年度・種別	2015年度 一般研究助成
研究代表者	相馬 敏彦
所属	広島大学大学院社会科学部研究科
研究テーマ	若者のDV被害を予防するプログラムの効果検証；DV被害の脆弱性モデルを基盤として
研究計画概要	<p>この研究では、若年者が親密関係の当事者としてDV被害を受けにくくなるための条件、ならびに潜在的な第三者として当事者たちの予防に貢献する「対人資源」となりうるための条件を実証し、それらを踏まえた予防プログラムの実施、効果の検証を行う。</p> <p>本計画ではDV被害の脆弱性は主に3つの心理的要因によって構成されるとモデル化する。スキルに関するもの、態度や知識に関するもの、他者からの影響可能性に関するものである。これらを予防プログラムに実装させることで被害脆弱性を低めることができよう。</p> <p>しかしこの実装には二つの点で理論的補完が必要である。そこでまず課題1では、当事者性の欠如を緩和する思考プロセスを探究する。経験サンプリング法を用い、関係で生じる幻想から当事者が脱するための心理的トリガーを示す。課題2では、カップルの排他性を超えて効果をもつサポート・ネットワークを同定する。調査によって、関係の魅力を損ねずに関係外からのサポート利用可能性を高められる条件を示す。最後に、複数の大学で予防プログラムを実施し、効果の一般性を検証する。</p>
選考委員からのコメント	<p>今日、若年者のDVの問題は深刻である。本研究は、被害の脆弱性モデルを提唱し、その心理的プロセスを実証するものである。研究者と経験の豊富な臨床家の共同研究によるもので、研究成果に期待が持てる。</p>